



サーバの設定

サーバの設定のウィンドウを使用して、Cisco Unified Presence がインストールされているサーバのアドレスを指定します。ネットワークでドメイン ネーム システム (DNS) サービスを使用している場合、サーバのホスト名を指定できます。ネットワークで DNS サービスを使用していない場合、サーバのインターネット プロトコル (IP) アドレスを指定する必要があります。

**(注)**

Cisco Unified Presence を設定するための情報を使用するには、適切な Cisco Unified Presence 名とアドレス情報を使って DNS サーバを更新する必要があります。

Cisco Unified Presence データベースでサーバのアドレスを追加、更新、または削除する方法については、[P.2-6](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

**(注)**

Cisco Unified Presence を新規にインストールする場合、Cisco Unified Presence の管理 ページの [サーバの設定 (Server Configuration)] ウィンドウでセカンダリ サーバ (ノード) を定義してから、そのサーバに Cisco Unified Presence ソフトウェアをインストールする必要があります。後続のノードを定義するには、[P.2-4](#) の「[サーバの設定](#)」で説明するとおり、[\[新規追加\]](#) をクリックしてサーバを設定します。セカンダリサーバを追加したら、Cisco Unified Presence ソフトウェアをそのサーバにインストールできます。

サーバの検索

ネットワークにサーバが複数存在する場合があります。Cisco Unified Presence では、具体的な検索条件に基づいて特定のサーバを検索することができます。特定のサーバを検索するには、次の手順を実行します。



(注)

ブラウザセッションでの作業中、クライアントマシンの cookie により、検索/一覧表示の設定が保存されます。他のメニュー項目に移動してからこのメニューに戻るか、ブラウザを閉じてから新しいブラウザウィンドウを開くと、検索の設定を変更するまで、Cisco Unified Presence の検索の設定がシステムで維持されます。

手順

ステップ 1 [システム] > [サーバ] の順に選択します。

[サーバの検索と一覧表示 (Find and List Servers)] ウィンドウが表示されます。アクティブ (優先) クエリーのレコードもウィンドウに表示される場合があります。

ステップ 2 データベースのすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認して、[ステップ 3](#)に進みます。

レコードをフィルタリングするかまたは検索します。

- 最初のドロップダウンリストボックスから検索パラメータを選択します。
- 2番目のドロップダウンリストボックスから検索パターンを選択します。
- 必要に応じて適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。検索条件を追加すると、指定したすべての検索条件に一致するレコードが検索されます。検索条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した検索条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして追加したすべての検索条件を削除します。

ステップ 3 [検索] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウンリストボックスで異なる値を選択すると、各ウィンドウに表示する項目の数を変更できます。



(注) 対象のレコードの隣にあるチェックボックスをオンにしてから [選択項目の削除] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択] をクリックしてから [選択項目の削除] をクリックすると、この選択で設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 表示されるレコードのリストから、表示対象となるレコードのリンクをクリックします。



(注) ソート順序を逆にするには、必要に応じて、リストのヘッダーにある上向きまたは下向きの矢印をクリックします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

P.2-6 の「[関連項目](#)」を参照してください。

サーバの設定

この項では、Cisco Unified Presence データベースで、サーバのアドレスを追加または更新する方法について説明します。

開始する前に

サーバを追加する場合、次のガイドラインを適用します。

- [サーバの設定 (Server Configuration)] ウィンドウで各サーバが 2 度以上追加されていないことを確認します。ホスト名を使用してサーバを追加し、その後、IP アドレスを使用して同じサーバを追加すると、Cisco Unified Presence のアップグレード後に Cisco Unified Presence でそのサーバのコンポーネントのバージョンを正確に把握できない場合があります。同じサーバに対して、Cisco Unified Presence の管理ページに 2 つのエントリがある場合、アップグレード前にどちらかのエントリを削除する必要があります (P.2-5 の「サーバの削除」を参照してください)。

手順

ステップ 1 次のいずれかのタスクを実行します。

- サーバを追加するには、[システム] > [サーバ] の順に選択し、[新規追加] をクリックします。
- サーバを更新する場合、P.2-2 の「サーバの検索」の手順に従ってサーバを検索します。

[サーバの設定 (Server Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 表 2-1 の説明に従って適切な設定を入力します。

ステップ 3 データを保存してサーバをデータベースに追加するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される [保存] アイコンをクリックします (または、ウィンドウの下部に表示される [保存] ボタンをクリックします)。



注意

サーバの設定の変更を有効にするには、Cisco Unified Presence のプロキシサーバを再起動する必要があります。再起動の間は、Cisco Enterprise SIP プロキシサービスにより既存のトランザクションが停止されるため、新たな要求を受け付けることができなくなります。

ステップ 4 [Cisco Unified Presence] > [プロキシサーバ] > [設定] を選択します。

[プロキシの構成設定 (Proxy Configuration Settings)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 5 [すべてのプロキシサービスのリスタート] をクリックします。

ステップ 6 確認のウィンドウが表示されたら、[OK] をクリックしてプロキシサービスを再起動します。

追加情報

P.2-6 の「関連項目」を参照してください。

サーバの削除

この項では、Cisco Unified Presence データベースからサーバを削除する方法について説明します。

開始する前に

システムで依存関係レコードの機能が有効でない場合、[依存関係レコード要約] ウィンドウにメッセージが表示されます。このメッセージには、依存関係レコードを有効にするのに必要な操作と、依存関係レコードの機能に伴う CPU 消費量の増大に関する情報が表示されます。

手順

-
- ステップ 1** P.2-2 の「[サーバの検索](#)」の手順に従いサーバを検索します。
 - ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除するサーバを選択します。
 - ステップ 3** サーバを削除するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される [選択項目の削除] アイコンをクリックします（または、ウィンドウの下部に表示される [選択項目の削除] ボタンをクリックします）。



警告

サーバの設定の変更を有効にするには、Cisco Unified Presence のプロキシサーバを再起動する必要があります。再起動の間は、Cisco Enterprise SIP プロキシサービスにより既存のトランザクションが停止されるため、新たな要求を受け付けることができなくなります。

-
- ステップ 4** [Cisco Unified Presence] > [プロキシサーバ] > [設定] を選択します。

[プロキシの構成設定 (Proxy Configuration Settings)] ウィンドウが表示されます。
 - ステップ 5** [すべてのプロキシサービスのリスタート] をクリックします。
 - ステップ 6** 確認のウィンドウが表示されたら、[OK] をクリックしてプロキシサービスを再起動します。

追加情報

P.2-6 の「[関連項目](#)」を参照してください。

サーバの設定値

表 2-1 で、サーバの設定値について説明します。関連する手順については、P.2-6 の「関連項目」を参照してください。

表 2-1 サーバの設定値

[サーバ情報 (Server Information)] のフィールド	説明
ホスト名 /IP アドレス	<p>ネットワークで DNS サービスを使用している場合、Cisco Unified Presence サーバのホスト名を入力できます。それ以外の場合、サーバの完全な IP アドレスを入力する必要があります。</p> <p> (注) ここで入力情報を使用するには、適切な Cisco Unified Presence 名とアドレス情報を使って DNS サーバを更新する必要があります。</p>
MAC アドレス (MAC Address)	<p>このオプションのエントリには、Cisco Unified Presence サーバのネットワーク インターフェイス カード (NIC) のメディア アクセス制御 (MAC) アドレスを入力します。この MAC アドレスにより、NIC の固定ハードウェア アドレスが決まります。</p> <p> ヒント サーバを定期的にネットワーク上の別の場所へ移動する予定がある場合、ネットワーク上の他のサービスが常にそのサーバを識別できるように、MAC アドレスを入力する必要があります。サーバを移動する計画がない場合は、MAC アドレスを入力する必要はありません。</p>
説明	このオプションのエントリには、サーバの説明を入力します。

関連項目

- [サーバの検索 \(P.2-2\)](#)
- [サーバの設定 \(P.2-4\)](#)
- [サーバの削除 \(P.2-5\)](#)
- [サーバの設定値 \(P.2-6\)](#)